

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
338 特定感染症（性感染症・肝炎）予防事業（性感染症の抗体検査、肝炎ウイルス検査）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	4	保健医療対策の推進
取組方針	3	結核予防とまん延防止対策の充実

事業種別	継続		
事業期間	永年		
事業実施の根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		
関連個別計画	和歌山市地域保健医療計画		
担当課・担当課長・Tel	保健対策課	豊田 忠彦	488-5115
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		予防対策費	
	大事業		予防対策事業	
中事業		特定感染症予防事業		

1 事業内容

事業目的	「誰・何」をどういう状態にするための事業か 市民に対して国が策定する「特定感染症予防指針」に基づき、性感染症や肝炎の知識の啓発を図る。また、感染の早期発見・治療のための検査や相談事業を実施し、感染の予防及びまん延の防止を図る。				
	全体事業概要 一般市民を対象に特定感染症予防に関すること（相談・検査・啓発等）を実施 1 性感染症抗体検査・相談（相談は随時実施）。エイズ検査と同時に実施、予約制。 実施内容 クラミジア・トラコモティス(IgA/IgG)抗体検査 梅毒血清反応検査(RPR法・TPHA法) 2 肝炎ウイルス検査・相談（検査は実施対象者あり。相談は随時実施） ア) 保健所内肝炎ウイルス検査 実施内容 HBs抗原・HCV抗体検査 実施日時 毎月第3水曜日 午前9時～午前11時 イ) 医療機関委託肝炎ウイルス検査 委託医療機関にて無料の肝炎ウイルス検査を受けることができる。 3 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業				
事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	1 市民を対象にHIV抗体検査と合わせて性感染症（クラミジア・トラコモティス抗体検査・梅毒血清反応検査）の検査及び相談を実施 2 肝炎ウイルス検査の実施及び肝炎相談窓口を開設 3 特定感染症予防の普及啓発の実施	1 市民を対象にHIV抗体検査と合わせて性感染症（クラミジア・トラコモティス抗体検査・梅毒血清反応検査）の検査及び相談を実施 2 肝炎ウイルス検査の実施及び肝炎相談窓口を開設 3 特定感染症予防の普及啓発の実施 4 肝炎ウイルス陽性者の状況把握及び未受診者への受診勧奨	1 市民を対象にHIV抗体検査と合わせて性感染症（クラミジア・トラコモティス抗体検査・梅毒血清反応検査）の検査及び相談を実施 2 肝炎ウイルス検査の実施及び肝炎相談窓口を開設 3 特定感染症予防の普及啓発の実施 4 肝炎ウイルス陽性者の状況把握及び未受診者への受診勧奨	1 市民を対象にHIV抗体検査と合わせて性感染症（クラミジア・トラコモティス抗体検査・梅毒血清反応検査）の検査及び相談を実施 2 肝炎ウイルス検査の実施及び肝炎相談窓口を開設 3 特定感染症予防の普及啓発の実施 4 肝炎ウイルス陽性者の状況把握及び未受診者への受診勧奨	1 市民を対象にHIV抗体検査と合わせて性感染症（クラミジア・トラコモティス抗体検査・梅毒血清反応検査）の検査及び相談を実施 2 肝炎ウイルス検査の実施及び肝炎相談窓口を開設 3 特定感染症予防の普及啓発の実施 4 肝炎ウイルス陽性者の状況把握及び未受診者への受診勧奨

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,919	1,935	1,814	2,016	1,905	2,194	2,300		2,300	
伸び率(%)	-	-	▲5.5%	4.2%	5.0%	8.8%	20.7%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	8,248	6,700	8,248	6,481	6,481	6,474	6,539		6,539	
正規職員	8,248	6,700	8,248	6,481	6,481	6,570	6,835		6,835	
正規職員以外	0	0	0	0	0	96	296		296	
小計	8,248	6,700	8,248	6,481	6,481	6,570	6,835		6,835	
国庫支出金	925	913	845	1,062	901	1,196	1,170		1,170	
県支出金	30	35	52	49	53	47	43		43	
市債	0	0	0	0	0	0	0		0	
その他	2	0	0	0	0	0	0		0	
一般財源（税等）	962	987	917	905	951	951	1,087		1,087	
所要人数（人）	1.08	0.88	1.08	0.82	0.82	0.81	0.82		0.82	
正規職員	1.08	0.88	1.08	0.82	0.82	0.81	0.82		0.82	
正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.14		0.14	
主な予算内訳	検査分析委託料1,148千円、手数料967千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 検査・相談の啓発の種類	種類	目標値					
		実績値	7	7	7		
		達成度(%)					
		目標値					
成果指標 受検者数（性感染症検査）	件	目標値	250	250	250	250	250
		実績値	183	182	178		
		達成度(%)	73.2%	72.8%	71.2%		
		目標値	250	250	250	250	250
	件	目標値	250	250	250	250	250
		実績値	217	256	270		
		達成度(%)	86.8%	102.4%	108.0%		
		目標値					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	現状のまま維持継続するが、個別施策層への性感染症予防について充実を図る。
見直し・改善内容	10代から20代前半の梅毒が増加傾向のため、若年層に対する啓発を強化し、受検者の増加を図る。